

小牧市では、この夏休みを利用してICT機器の更新を行いました。小牧中学校・篠岡中学校・光ヶ丘中学校の生徒用タブレット端末や各小中学校の普通教室用プロジェクター、特別教室用電子黒板等が新しくなりました。また、ネットワーク回線を使うためのアクセスポイントも新しくなりますので通信速度が速くなるとともに安定的に通信を行うことができます。今回は導入された機器の紹介をさせていただきます。



小牧市のICT教育が目指す姿

時代を切り拓くこども
～ICTで伸ばすこどもの力～

1. 情報を収集する力
2. 情報を取捨選択し、読み解く力
3. 論理的・創造的に思考する力
4. 課題を発見・解決し、新たな価値を創造する力
5. よりよい社会や人生のあり方について考え、学んだことを生かそうとする力



1人1台タブレット端末 (iPad第10世代)

- ・ 小牧中学校、篠岡中学校、光ヶ丘中学校3校の生徒用タブレット端末がiPadになりました。中学校はこれまでWindows系タブレット端末を使用しており、最初は操作に戸惑うこともあると思いますが、小牧市が配置するICT支援員等の協力を得て万全のサポート体制により効果的なICT教育に努めていきます。



○今後の1人1台タブレット端末の導入予定は

- ・ 令和8年1月には、令和6年度に導入をした小牧中学校、篠岡中学校、光ヶ丘中学校の3校を除く全ての中学校及び全小学校のタブレット端末の入れ替えを行う予定です。小牧市内全ての小中学校で使用される児童生徒用タブレット端末はiPadになります。



○なぜ、小牧市ではこれからのタブレット端末は「iPad」を整備するのか

- ・ これまで小牧市の児童生徒用タブレットは、小学校はiPad、中学校はWindows系タブレット端末を利用していましたが、iPadは手やタッチペンで直感的な操作ができるため、扱いやすいこと、バッテリーの持続時間が長いこと、これまではWindows系でしかできなかったマイクロソフト製品 (Word, Excel等) の作業等がiPadでも行えるようになってきていること等を総合的に判断し、今後小牧市で導入する児童生徒用タブレット端末についてはiPadを導入する方針としました。

教職員向けの導入機器操作説明会を開催しました

今回、新たに導入した機器類の操作説明会を開催しました。いつもは教える側の先生方もこの日は受講生として熱心に講師の話に耳を傾けていました。わからないことがあると納得できるまで講師からの説明を受けており、有意義な説明会を行うことができました。



プロジェクター及びAppleTV

- 全ての小中学校の普通教室用プロジェクターが新しくなりました。また、同時にApple TVも導入しました。
- Apple TVは、iPhoneやiPadの画面をプロジェクターに無線で簡単に映し出す（ミラーリング）ことができます。
- ミラーリングが簡単にできることから児童生徒のノートやタブレット画面を提示することや、拡大表示して情報を共有保存しておいた動画を視聴する等、授業に効果的に活用できるようになります。
- また、アプリケーションの利用も可能なことからロイロノートとの連動も簡単に行うことができます。



電子黒板

- 全ての小中学校の特別教室等に電子黒板が設置されました。
- 電子黒板は、従来の黒板やホワイトボードではできなかった様々なことが可能になります。例えば、パソコンで用意した画像に直接書き込んだり、拡大して見せたりできるほか、電子黒板で書いたものをデータとして取り込み、保存しておくことも可能です。また、動画や音楽を授業に取り入れることも容易になります。

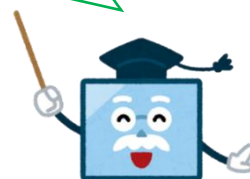


プログラミング教材

- 中学校の技術・家庭科に含まれる、「情報」授業で利用するプログラミング教材に「アフレル製：LEGO SPIKEプライム」（各校10台）を導入しました。
- 今回導入したプログラミング教材は、直感的にプログラムが作成できる基礎的なプログラミングから複雑なプログラミングまで行うことができ、ロボットを動かすことが可能です。



整備された機器類は大事に使ってください。



KOMAKI♥ICT しんぶんのバックナンバー



過去のICTしんぶんは小牧市ホームページに掲載しており、いつでもご覧いただけます。
(→右記の二次元コードからもアクセスいただけます)